

旧6町の「花」「木」「歌」一覧表

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町
花	さつき	百日草（ヒヤクニヂヨウ）	チューリップ	スイセン	福寿草	チューリップ
	昭和55年1月1日制定	昭和51年8月21日制定 町制25周年事業	昭和51年4月11日制定	昭和55年7月25日制定	昭和43年3月制定	昭和50年10月16日制定
	町の花づくりに親しむことにより、明るく美しい平和な町づくりを進めようとして制定されたものです。	白や赤、淡紅、黄色など色とりどりの花は、秘められた「強い生命力」を感じさせ、住民の「すぐれた健康」や「旺盛な経済力」「適応力の強さ」などを象徴しています。	4月中旬から下旬に町内の砂丘一帯で花のじゅうたんを敷きつめたように咲き競う姿は、訪れる人の心を和ませます。	公募した27候補の中から、丹後特有の天候「うらにし」の中でも強く耐え、活動的なイメージを持つ花スイセンに町の発展を願って選定されました。	福寿草は、厳しい環境でもたくましく育ち、可憐な花を咲かせる弥栄町民の心を象徴しています。	白砂青松の砂丘に調和して、春には目のさめるような鮮やかな色あいを見せ、人びとの心をやわらげてくれます。
木	かえで	木犀（モクシ）	松	クロマツ	赤松	梅
	昭和55年1月1日制定	昭和51年8月21日制定 町制25周年事業	昭和51年4月11日制定	昭和49年1月制定	昭和48年7月制定	昭和50年10月16日制定
	町の木づくりに親しむことにより、明るく美しい平和な町づくりを進めようとして制定されたものです。	馥郁たる花の香りは優雅さや高貴さを漂わせ、町の「文化の高さ」、住民の「豊かな教養」「美しい心情」を象徴しています。	春夏秋冬、不変の緑を保つ松の樹は、実生によって自然に育成され、また苗木移植からはぐくまれて白砂青松、老木、古木の姿となります。これは、外来移住者を抱擁同化し、和合一体の町づくりを目指す網野町の姿と相重なります。	風と荒波に耐え、力強く海岸線にしっかりと根をおろすクロ松が丹後町の将来を象徴するものとして選定されました。	赤松は、その美しさから「女松」とも言われ、町内の全域で天然木が育っており、ほとんどが天然木です。	梅は万葉の詩人に詠まれているように歴史も古く、春の訪れとともに一番に花と芽をつけます。
歌	「峰山町民愛誦歌」	「輝く未来へ」	「網野町歌」	「丹後町の歌」	「弥栄町の歌」	「久美浜町歌」
	昭和30年5月3日制定	平成3年3月制定	昭和43年4月22日制定	昭和49年7月25日制定	不詳	昭和55年5月3日制定
	作詞 吉岡 醇治 作曲 細川 晃	作詞 岩谷 時子 作曲 さとう 宗幸	作詞・作曲 小田 冬平	作詞 山副 武雄 作曲 今西 謙吉	作詞「弥栄町の歌」 策定委員会 作曲 今西 謙吉	作詞 寺谷 正 作曲 岩崎 晃